



えんだより



2021年11月
吉野幼稚園

主 題：「感謝する」

聖書のことば：「成長させてくださったのは神です」(第1コリント3：6)

コロナ禍の下での時間短縮や種目の見直しなど、懸案事項が多かった運動会でしたが、絶好の秋晴れのもと、子どもたちは大変よく頑張りました。多くの保護者の方々にお越しいただき、園児への応援や運動会の運営等にご協力いただき、無事終了することができました。誠にありがとうございました。大きな行事も一つ終わり、少しほっとしているところです。

さて、今回は「よい発達に興味をもって繰り返し使うことから」という話です。子どもが環境を知り、そこからいろいろなことを学ぶのには、子ども自身の感覚、筋肉、知能などが大きな役割を果たすわけですが、このような心身のはたらきは、胎児・乳児のうちから芽生えているということです。昔から、胎教や乳・幼児期の教育が大切であると言われるゆえんです。

子どもが持っているいろいろな能力の芽をよりよく伸ばすためには、それぞれの能力に興味をもって、正しく繰り返し使うことです。繰り返し使うといっても、強制し教え込むということではありません。子どもが興味を持たないことを、親が子どものためにと強いると、子どもは拒否したり、逃げたり、反抗したりします。親が良かれと思ってやったことが、裏目にでるのです。これでは子どものための教育とはいえません。こんな教育を長く受けた子どもは、意欲のない無気力な子どもになってしまいます。意欲のある子どもに育てるのには、その子の興味・関心を大切にすることです。

本園では、以上のことを踏まえ、毎日の「おしごと」をはじめとして、音楽や体育、絵画指導、また課外のサッカークラブ、体操クラブ等を実施しています。

幼稚園での活動と家庭での生活で、一人一人の子どもの興味・関心を生かした教育ができるように今後とも進めていきたいと思えます。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

11月のねらい

- Aグループ・自分の思いも伝えて、相手の考えも聞き、仲間と一緒に遊びを進めていく。
- Bグループ・積極的に仲間に入り、相手の気持ちも考えたり協力したり、集団遊びを楽しむ。
- CDグループ・友達と触れ合い、言葉を交わしながら、遊びの楽しさを感じる。